

Book Review

新刊紹介

ゴールは結婚

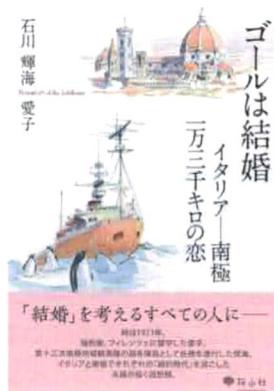
イタリア—南極一万三千キロの恋

石川輝海 石川愛子 著、桜山社

288 ページ、19×12.8×2.4 cm

2018 年 7 月 27 日発行 價格：1,500 円+税

ISBN : 978-4908957055



本書を手に取った時に、最初に目につくのが、帯に書かれた惹句である。「結婚」を考えるすべての人にーとある。

老境に達した夫婦が若き頃の「冒険」を回想した記録である。二人が婚約時代に過ごした対照的な二つの地域、イタリアと南極。これはまたユニークな婚約時代の滞在先だ、と読む前に期待が高まる。

全体の約 6 割は夫人の作品。第 1 章は「青春第 1 楽章」として、二人のなりそめから夫人の愛子さんのイタリア音楽留学、間に南極越冬記を挟んで、つぎにまた夫人の約 40 年後のイタリア再訪の記録が「フィレンツェ第 2 楽章」として描かれる構成になっている。

評者にはなじみのないイタリア留学記を読みながら、あの頃の海外旅行事情を多少は知るものとして、夫人の勇気ある日本脱出の経緯と現地生活は迫力があって読み応えがあった。

夫の輝海さんの越冬は、「ふじ時代」の第 13 次隊。「45 年以上も前のこと良く覚えているな」と思いつつも、当時の越冬生活が生き生きと描かれているのに郷愁を覚えた。

ひとつだけ、著者の記憶間違いを指摘させてもらうと(99 頁)、昭和基地のある地域を最初に調査したのはノル

ウエーの探検隊である。従って、昭和基地周辺の地名の多くはノルウエー語で表現されている。が、これは本書の趣旨とは関係のことである。

本書は夫婦合作のユニークな青春回想記であると同時に、70 年代の南極観測隊の日常を描いた体験記でもある。今の若い世代の、特に独身の皆さんがこれを読んでどう感じるか聞いてみたいものだ。

ソフトカバーの装丁も美しくしゃれしており、読みやすいつくりになっている。

幸せなカップルに乾杯。

(白石和行：前国立極地研究所長)

(2019 年 1 月 8 日受付)